

【事務事業調査】

事務事業名	高根沢町婦人防火クラブ活動補助			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-09-01-01-00020101
担当部課	総務企画部地域安全課	担 当 係 長	消 防 防 災 係 阿久津 道 央	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？	
計 画	H23 事後 評価	防火講話等の講習会、予防広報活動及び他市町の婦人防火クラブとの交流会を通して、火災予防の知識を習得するとともに住宅への火災警報器の設置推進等を行った。	自治会、町消防団等との協力体制を図りながら、地域活動をおして住宅等における火災を予防し、誰もが安心して住める地域社会をつくります。
	H25 事前 評価	安全・安心な地域社会にするために、防火講話等の講習会、予防広報活動及び他市町の婦人防火クラブとの交流会を通して、火災予防の知識を習得するとともに住宅への火災警報器の設置推進等を行います。	
実 績			

■活動指標

指 標	目 標 値	達 成 値	特 記 事 項
家庭や地域から火災を起こさないため、火に関する諸原理、火災予防の研究及び初期消火、消火技術の理解を深め、火災の無い安全で住みよいまちづくりを積極的に推進する。	火災件数 0件		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	177	平成23年度と同額要求するものです。負担金・活動費・会議費・旅費等
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	177	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	177		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	177		

■補助金等名:高根沢町婦人防火クラブ活動補助金

■補助事業者等:高根沢町婦人防火クラブ

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというあてはまる:3点
- (4)どちらかというあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	地域と密着した活動により、防火思想の普及高揚を図っている。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	町民の防火意識の向上に、婦人防火クラブの活動が重要な役割を果たしている。特に、女性のソフト面を生かすことにより、細やかな対応ができるものとする。火災による被害の軽減につながり、町民の安心・安全なまちづくりのために必要である。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	婦人防火クラブの組織は支部長39人、クラブ員数4,731人である。役員会を通じて、行事等の活動方針を見直す等効率化を図っている。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	婦人防火クラブの活動は消防団の活動と密接に関係している。この2団体が連携することにより相乗効果と効率的な運営を行うことができる。今後は、住宅用防災警報器の設置に伴う啓発活動により、戸別住宅の普及率の向上に努める。
		■予算の見積が適正である。	4	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	安全・安心なまちづくりのためには、地域で活動を行う婦人防火クラブへの支援は必要である。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	3	
合計点数		37		
総合評価		継続		